

情報公開文書

テクネテトロフォスミン スペクト  
**<sup>99m</sup>Tc-Tetrofosmin負荷心筋血流SPECT検査における**

ミスレジストレーション  
**CT 吸収補正のmisregistrationの影響に関する研究**

●はじめに：

冠動脈疾患の非侵襲的なスクリーニング検査(その病気の疑いのある人を早く発見し、早期の適切な治療や病気のコントロールにつなげるための検査)として、

テクネテトロフォスミン スペクト  
<sup>99m</sup>Tc-Tetrofosmin負荷心筋血流SPECT検査(放射性医薬品を体内に投与して、心臓の筋肉の状態を把握するための検査)は非常に有用な検査であります。最近で

スペクトはSPECT装置とCT装置が一体化したSPECT/CT装置が普及し、スペクト装置に比べて検査時間の短縮やアーチファクト(様々な影響によって本来画像に現れないものが画像に生じること)の低減が可能となり、診断精度の改善が期待されています。しかし、スペクト撮像時とCT撮影時においてmisregistration(位置ずれ)が生

じることが懸念されています。

我々は<sup>99m</sup>Tc-Tetrofosmin負荷心筋血流SPECT検査のmisregistrationの影響に関する研究を行っています。

●対象：当院を受診し、平成28年3月1日から平成29年3月31日までに<sup>99m</sup>

テクネテトロフォスミン スペクト  
Tc-Tetrofosmin負荷心筋血流SPECT検査を受けられた患者さんが対象です。

●方法：

- ・通常の診療で得られる検査結果と撮影される画像データを使用します。
- ・新たな追加検査をすることはなく、患者さんに余分な費用や危険は生じません。

●個人情報について：

- ・個人情報の漏洩を防ぐため個人を特定できる情報は削除しています。
- ・研究結果の公表の際には患者さんを特定できる情報は含まれません。
- ・研究の目的以外に患者さんのデータを用いません。

●患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置

当院を受診し、平成28年3月1日から平成29年3月31日まで<sup>テクネトロフォスミン</sup><sup>99m</sup>Tc-Tetrofosmin負

荷心筋血流<sup>スペクト</sup>SPECT検査を受けられた患者さんで、この研究に診療データを提供したくない方は下記までご連絡下さい。ただし、御連絡をいただいた時点で既に、研究結果が論文などに公表されている場合には、解析結果等から取り除くことが出来ず、研究参加を取りやめることができなくなります。

●問い合わせ先

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 放射線診断学

研究責任者 山 直也

研究分担者 橋本 暁佳、畠中 正光

平日：tel) 011-611-2111(内線35350)教室

夜間・休日：fax) 011-621-8059 (休日明けに連絡を差し上げますので連絡先が分かるように明記下さい)

●研究期間：病院長承認日から平成31年3月31日まで。

●予定症例数：100例

●医学上の貢献：

研究結果は、心筋血流<sup>スペクト</sup>SPECT検査の精度向上につながり、安全で質の高い治療に貢献することが期待されます。